

令和3年度 3月臨時号

清瀬市立清瀬中学校 令和4年3月23日



清中だより

手をつなぎ 心をつむぐ みどりの清瀬

【電話】042-493-6311

【所在地】〒204-0003 東京都清瀬市中里 5-624

令和4年度の第0学期

校長 小池雄志郎

3月18日、卒業式を挙行了いたしました。卒業生のすばらしい姿を思い起こしながら、校長の式辞と卒業生代表の「別れの言葉」を皆様にお伝えいたします。



「卒業式式辞」

卒業生の皆さん、本日はご卒業おめでとうございます。また、ご来場の保護者の皆様、お子様のご卒業、おめでとうございます。心よりお祝いを申し上げます。

さて、本日の卒業式は、例年とは異なる形での実施となりました。本来ならば在校生も参加して、多くのご来賓に見守られ、みんなで歌を歌って式を進めていくところ、形を変えて実施することとなりました。しかし、その、形を変えてという考えは間違っているのかも知れません。本来の形、例年の形などといいますが、それが果たして本当の形だったのだろうかと思うのです。

新型コロナウイルスへの対応は、私たちにいろいろなことを教えてくれました。そのひとつが、誰も正解を知らない問題に取り組むということです。正解を暗記するような教育はとうの昔に終わっており、今は一人一人が入手した情報をもとにより良い解決策を考えることが求められています。さて皆さんは、今、どのような解決策をお考えでしょうか。

解決する方法はなくとも、より良い過ごし方やより良い対処の仕方をお考えのはず。そのような思考や行動を実現することこそが、教育の目的であり、今、正に私たちが直面していることなのです。

私たちは、新しい時代の幕開けに生きています。そしてその新しい時代の創り手こそが、今ここにいる皆さんです。コロナのために失ったことばかりが強調され、印象に残りがちな昨今ですが、この時期を中学生として過ごした皆さんだからこそ、また違ったことを感じたり、考えたりすることができるのではないかと期待しています。

皆さんは、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けて、自分のことと同じように、人のことを大切にしてきましたね。未知の問題にぶつかったときに、これまで学んだ知識や経験を総動員して解決に当たってきましたね。そして、問題の解決のため、ご家族や仲間たちと手を取り合って今日、この日まで歩んできましたね。

部活動が中止となったり、オンライン授業が続いたりして、仲間と直接顔を合わせる機会が少なくなって、さみしかったり、つらかったり、残念に思ったりしたことたくさんあったでしょう。しかし、それらを乗り越えてきた皆さんを、私は心の底から頼もしく思っています。

卒業生の皆さん。皆さんが清瀬中学校で過ごしてきたこれまでの日々を、今一度思い起こし、前を向いて大きく羽ばたいて行ってください。

令和4年3月18日 清瀬市立清瀬中学校校長



「別れの言葉」

春の香りと暖かな風に包まれ心おどる今日、私たちは清瀬中学校を卒業します。ここで過ごした三年間、私たちは様々なことを学びました。

期待と不安を胸に、初めて校門をくぐった入学式。緊張の中で聞いた先輩方の歌声に圧倒されました。たくさんの不安がある中、他の小学校から来た子と友達になれた時はとても嬉しく思いました。

入学当初、私たちが最も楽しみにしていたのは部活動でした。しかし、先輩についていくだけでへとへとになり、勉強との両立に苦労しました。

初めての運動会や音楽祭では、なかなかクラスがまとまらず苦労しましたが、先輩方が団結し、一つの目標に向かって突き進む姿にあこがれました。私たちも先輩に近づけるように努力しようと思えました。

自分たちにも後輩ができる、そんな新学年を楽しみにしていた一年生の三月。新型コロナウイルスの出現によって私たちの生活は一変しました。突然の休校で、学校に通うことができなくなり、何をしたらよいのかわからないまま一年生が終わりました。

二年生になり、初めてクラス全員が教室で揃うことができたのは、六月になってからでした。マスクを着用し、それまで賑やかに楽しく食べていた給食も黙食となりました。

楽しみにしていた運動会やスキー移動教室が中止になり、とても残念でした。でもそんな中、体育館で開催できた音楽祭。大変な時期だからこそクラスで一致団結して歌うことができました。

部活動や委員会では先輩からバトンを受け継ぎ、自分たちが学校の中心になるという強い責任感が生まれました。

そして最上級生となった三年生。

運動会では、二年分の青春を取り戻そうと仲間と全力で駆け抜けました。全力で取り組み、協力し、団結することは楽しいのだと感ずることができました。

音楽祭でも、清瀬中学校の伝統を後輩につなごうと、皆が真剣でした。仲間と話し合い、何度も試行錯誤しながら練習した時間は、順位よりも大切な宝物になりました。

そして修学旅行。

実施と聞いた時はとても嬉しかったです。コロナ禍であっても、奈良や京都の方々が笑顔で私たちを迎えてくれました。見学した文化財からは、普段の授業ではわからない歴史の重みを感じることができました。

部活動や委員会を後輩に託した私たちを待っていたのは、進路選択です。プレッシャーが高まり不安でしたが、辛い時にはいつもそばに仲間がいてくれました。三年間、共に様々な壁を乗り越えてきた仲間がいたから、受験という高い壁も乗り越えることができたのだと思います。

私にとって一組は楽しく、にぎやかで、友達や先生方が温かく迎えて下さるととても居心地の良い場所でした。

私はこの学級に入学したばかりのころは人見知りで、自信がなくみんなの前に立つことに積極的ではありませんでした。

そんな私が変わったのは、2年生の時でした。その学年は周りとの結びつきが特に強く、学校に来ることがとても楽しいと感じていました。そのような環境で生活することで私自身の力が少しずつ伸びていったのを実感しています。同じように、一組に入学し学習を積み重ねることで、私以外の友達も個々の力を伸ばすことができたを実感していると思います。

清瀬中学校でこのような充実した日々を送ることができたのは、私たちを支えてくれた多くの方々の力があつたからです。

先生方はいつも私たちのことを考え、温かく見守ってくださいました。時に厳しく、時に優しく指導してくださいました。

そのおかげで今の私たちがあります。本当にありがとうございました。

私たちの学校行事に協力し、支えてくださった地域の皆さま。私たちは皆さまから支えられ、学んだことを将来に活かし、清瀬中学校の卒業生として恥ずかしくないように、自分の夢を追いかけます。

そして、私たちを一番近くで見守り続けてくださった保護者の皆さま。

今までたくさんの迷惑をかけてきました。特に受験期には、不安定になった私たちを励まし、寄り添い、不安を和らげてくださいました。いつもはなかなか素直に言えないけれど、これまで大事に育てていただいて本当に感謝しています。ありがとうございました。そして、これからもまだまだ未熟な私たちを支えてください。

在校生の皆さんは部活動や委員会など、様々な場面で私たちのことを助けてくれました。ありがとうございました。新型コロナウイルスの影響で関わる機会が少なかったですが、皆さんとの日々はとても貴重な思い出となりました。

さて、在校生の皆さんに、伝えたいことがあります。

それは、「今ある時間を大切にする」ということです。休校やオンライン授業を経験し、私たちは、仲間と笑い合っ
て話ができる、行事ができる、学校生活を送ることができるという、当たり前の日々大切に気付きました。中学
校の三年間はあっという間です。今という時は二度と戻ってこない。だから、今の仲間、今日の生活、今この時を大
切にしていってほしいと思います。

最高学年になる二年生、後輩ができる一年生。悔いのないように一日一日を大切に過ごし、清瀬中学校をさらに素
晴らしい学校にしていってください。

そして、今日共に卒業していく仲間たち。

皆が毎日明るく元気に、笑顔でいてくれたから、充実した中学校生活になりました。この仲間と三年間過ごすこと
ができて本当に良かった。ありがとうございました。

目をつぶると、たくさんの思い出が頭の中を駆け巡ります。

大縄跳びの息を合わせるのに苦しんだあの日、
一つのボールを皆で追いかけ、笑いあったあの日、
修学旅行の夜、遅くまで語り合ったあの日、
緊張しながら、仲間の温かい手拍子の中で踊ったあの日、

最高の仲間とともに清中で過ごした日々は決して忘れません。

この思い出はいつまでも色あせることなく、心の宝物となるでしょう。

卒業はゴールではありません。新たな始まりです。

仲間との思い出と、今までお世話になった方々への感謝を胸に、私たちは自分の道を一步ずつしっかりと歩んでい
きます。

令和4年3月18日 卒業生代表



「別れの言葉」は、3年生生徒の思い出をアンケートで集め、それを各クラスで学級委員がまとめたものをもとに
作成しました。1, 2年生の皆さんには、どうかこの内容をかみしめていただき、今を令和4年度の0（ゼロ）学期
と位置付けて、4月以降の新年度1学期に備えていただきたいと思います。

今回の卒業式の実施に当たりましては、ご参列の人数が各ご家庭1名ということでご協力をいただきました。あり
がとうございました。またオンライン中継の実施については、清瀬市コミュニティハウスの皆様に多大なご協力をい
ただきました。ありがとうございました。最後になりましたが、式の運営に参画していただきました本校PTA、学
校支援本部の皆さま、ありがとうございました。

◆◆ 学校の様子 ◆◆

◇ 3月9日（水）、第2学年「ヒッポファミリークラブ」



第2学年では、「ヒッポファミリークラブきよ
せ」の皆様のご協力により、アクティビティ形
式による異文化理解の授業を行っていただきま
した。異なる文化をもつ人々との交流や、日本
で学んでいる留学生の方のお話を聞くことを通
して、自分自身の生き方や進路について考える
ことができました。

◇ 3月10日（木）、第3学年「清瀬市コミュニティハウス」



第3年生を対象に清瀬市コミュニティハウス
とのコラボ企画を実施しました。コミュニティ
ハウスそのものを会場に、コミュニティハウス
が目指す持続可能な地域づくりなどについて学
びました。ヤギとのふれあいもあって、ホッと
和んで癒やされるひと時でした。

◇ 3月10日（木）、1組「3年生を送る会」



1組では、恒例の「3年生を送る会」を行いました。例年は保護者の方にも参加していただいて実施している会ですが、コロナのこともあって生徒だけで行いました。会の様子はオンラインでご家庭にも配信し、保護者の方にも見ていただけるよう工夫いたしました。

◇ 3月14日（月）、第1学年「JICA国際理解出前講座」



第1学年では、JICA東京センター市民参加協力第1課の塚本夢野さんをお招きして出前講座を行っていただきました。海外での暮らしや発展途上国における国際協力などの体験に基づくお話をお聞きし、国際理解を身近なものとして考えるきっかけを作っていただきました。

◇ 3月15日（火）、第3学年「三味線出前授業」



第3学年では、日本の伝統についての学習の総仕上げとして、三味線の出前授業を実施しました。この日は講師に、NPO法人三味線音楽普及の会の吉住小留実先生をお招きしてご指導をいただきました。卒業する3年生にとって思い出に残る授業となりました。ありがとうございました。

◇ 3月17日（木）全校集会



今年度最後の生徒集会をオンラインで行いました。生徒会役員の皆さん、専門委員会委員長をはじめ委員の皆さん、支えてくれた皆さん、本当にありがとうございました。後半は表彰を行いました。1年生、2年生、3年生がそろって行った最後の「全校」集会でした。

◆◆ 生徒の活躍 ◆◆

◇ 第14回中学生レシピコンテスト「オリジナル弁当を作ろう」

野田鎌田学園「お弁当づくり実行委員会」の主催による標記コンテストで、クッキング部の生徒のレシピが入選しました。おめでとうございます。

入選 2年A組	さん	作品名「和風癒やされ弁当」
入選 2年C組	さん	作品名「チャーハン弁当」
入選 1年C組	さん	作品名「照り焼き弁当」

◇ 「体育優良生徒」－東京都体育協会、東京都中学校体育連盟による表彰－

3年間、心身の健康に留意し、他の模範となった生徒です。おめでとうございます。

東京都体育協会による表彰	3年A組	さん	3年D組	さん
東京都中学校体育連盟による表彰	3年1組	さん		